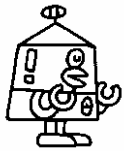


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /  
植物の発芽と成長 / 理解シート

## たねをまいても、なかなか発芽しないのは、なぜなの



たねが<sup>はつが</sup>発芽するには、水、空気、一定以上の温度などが  
必要だよ。それに、たねの皮が<sup>やぶ</sup>破れないと発芽できないし。

### たねの発芽には、水、ちょうどよい温度、空気が必要

多くのたねは、じゅくして地面に落ちると、発芽しやすい<sup>じょうけん</sup>条件がそろうまでたねのままです。気温が上がり、雪どけ水や春の雨でしめった地面の下で、水をすつてたねはふくらみ皮が破れ、芽を出します。でも、成長できるのはごくわずかです。

水気がたりなかったり、温度が低すぎたり、深い所にうめられていると、なかなか発芽しません。必要な水気や温度は、植物の種類によってちがってきます。

また、たいていのたねは、水中にもぐったままでは発芽しません。たねも<sup>こきゅう</sup>呼吸をしているので、空気（<sup>さんそ</sup>酸素）にふれられないところでは、発芽できないのです。

### 植物の種類により、発芽しやすい条件はいろいろある

植物の種類によって、発芽に必要な条件が少しずつちがっています。

一定期間、たねが低い温度にあわなければ発芽しない植物、いちど水でよくあらわないと発芽しないトマトやキュウリのたね、鳥に食べられて、ふんとして出されないと発芽しないヤドリギのたねなどもあります。光が少しあるほうが発芽しやすい植物や、暗いほうが発芽しやすい植物もあります。

これらは、それぞれの植物の育つ場所やかんきょうに、いちばんつごうのよい発芽の条件ができています。

アブラナは、気温が12~20 ぐらいでないと、発芽しにくいです。

こんなときは、発芽しにくい

